

ならの木便り

うれしいお誕生日会



5月16日の月曜日、今年度初めてのお誕生日会を行いました。年少児から年長児までの、この日に登園した園児たちがホールに集まり、4～5月の誕生日児を祝いました。全クラスが一部屋に集まるのは随分久しぶりです。

『トトロ』のテーマソング、『散歩』の合唱にあわせて入ってきたこの日の主役たち、お祝いされる5名のうちの2名がお休みで、少しだけさみしい会にはなりました。

席に着くと、好きな食べ物を問われたおともだちが、それぞれ、ぎょうざ・いちごと答えたのに対して・3人目の子が人参と言ったので、会場から「オー」という声が上がりました。

園長のお祝いの言葉に次いで、園児たちからの「お誕生日おめでとう」の声、3人はとても嬉しそうでした。

先生たちからのお祝いは、森へ出かけた『ぐりとぐら』の人形劇でした。大きな卵を拾ってそれを調理するというお話です。

昼食後は、お祝いのお菓子が皆の前に並びました。

昨年は、私が年少児から年長児までの各教室を回って、何故ケーキから日本のお菓子に変えたかを説明して歩きました。日本には、和菓子という美しいお菓子があって、外国でも誇れる素敵なお菓子です。職人さんが長い間修行して心を込めて作り上げたお菓子です。皆さんは日本に生まれたのだから、美しい日本のお菓子でお誕生日をお祝いして欲しい。作っていただいた職人さんたちに、感謝の心を持っていただきましょう、というようなお話をしました。

今年は、そのお話を年少組の保育室で、遠竹先生が熱心に子ども達に話しているのを、写真に撮っておりました。





今回の和菓子は牡丹の花でした。黒文字(「くろもじ」は木の名前で、この木を材料にして作った楊枝を黒文字と言います)を使って楽しそうに食べておりました。ちなみに、昨年の五月のお誕生会では菖蒲の花をかたどったお菓子でした。

ケーキの時には、アレルギーの子どもが何人かはいて、違うお菓子をを用意しましたが、和菓子はアレルギーを心配することなく、全員が同じものを食べられるというメリットがあります。

年中・年長の子ども達は、和菓子にすっかり慣れた様子で、今度はどんなお菓子が出るのかしらと、興味津々で楽しみにしているということでした。



昨年のお菓子(菖蒲の花)



今年のお菓子(牡丹の花)

先日、あるお母様からこんな話を聞きました。

昨年度、梅の花の和菓子が提供されたときのことで。お子さんに「今日は何が出たの?」と聞くと「桜の花」と答えたそうです。その後、それが梅の花であることを知りました。お子さんにそのことを話すと、お子さんはその花に興味をもって、図鑑を出してきて梅の花を調べていたということです。思わぬところでお菓子が子どもの興味を引いたということでした。このように、ご家庭で、和菓子が話題に上がっていたら嬉しいことです。

ケーキから和菓子に変更したことについては、おおむね賛同していただいている保護者の方が多いようで、ご協力に感謝しております。

